



Rotary International District 2510

小林酒造 (第 3G)

GOVERNOR'S

Monthly Letter

2022-2023 ガバナー月信

3

2023 Mar

No.9



国際ロータリー第 2510 地区

2022-2023 年度 ガバナー 石丸 修太郎

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F

TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512

E-mail: rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>

2022-2023年度 国際ロータリーのテーマ 「イマジン ロータリー」



国際ロータリー第2510地区 2022-2023年度テーマ

「ロータリーに想いを馳せる」 ～明日のロータリーに夢を込めて～



【地区目標】

- ① クラブの将来像を打ち立てる
- ② より多くの会員の参加を得てクラブにおいて新たな事業に取り組む
- ③ 青少年への支援を発展・充実させる
- ④ ICTも利用して交流の輪を広げる

CONTENTS

| | | | |
|--------------------------------------|----|------------------------------|----|
| ● ガバナーメッセージ ----- | 1 | ● 米山奨学生紹介 ----- | 21 |
| ● RI会長エレクトが2023-24年度会長テーマを発表 ----- | 3 | ● 国際大会案内/日本人親善朝食会開催ご案内 ----- | 24 |
| ● トルコ・シリア大地震義捐金のお願い ----- | 5 | ● 新入会員セミナー ----- | 28 |
| ● 水と衛生月間 ----- | 8 | ● RYLAセミナー ----- | 30 |
| ● 第4期RLIパートⅢを終えて ----- | 9 | ● ガバナー四方山話⑨ ----- | 32 |
| ● 国際ロータリー第2510地区補助金委員会より ----- | 11 | ● ガバナー補佐自分を語る ----- | 33 |
| ● 「第7回学友交流・帰国報告会」を終えて ----- | 12 | ● 新会員のご紹介 ----- | 34 |
| ● ISFRニセコウィーク開催 ----- | 14 | ● 訃報/月信委員会からのお知らせ ----- | 35 |
| ● RI第2510地区第8グループ2022-2023年度IM ----- | 16 | ● 表紙の解説（第3グループ） ----- | 36 |
| ● 百寿と50周年のお祝い ----- | 20 | | |



ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2510地区

2022-2023年度ガバナー 石丸 修太郎
(札幌西RC)

2月も過ぎ3月は卒業のシーズンですね。スタートは3月1日の道立高校の卒業式でしょうか。母校の関連団体に関わっているため卒業式に呼ばれることが多かったのですが、過去3年はコロナ禍で呼ばれず、今年は久しぶりに参列することができます。厳粛な中での卒業式が終了と言う時に、卒業生の中から「待った」の大声で会場はがらりと変わって卒業生のパフォーマンスとなります。実に趣向を凝らしたもので、青春を感じる楽しいものです。

この3月は、ロータリーにおいて水と衛生の月間です。日本では当たり前にある水が本当に貴重な地域が世界中にあります。日本語で水に流すというと、これまでのことは忘れて、元に戻すというような意味に使いますが、水の不自由な地域ではあり得ない表現ですね。

アメリカのアリゾナの高地で地元の方とキャンプをした時は10km以上埃だらけの道路を走って、井戸のあるところに行き、タンクに水を入れもらい生活に必要な水を得たのですが、6日間風呂に入らずで、7日目に街に降りて来てモーテルでシャワーを浴びたときの爽快感は格別でした。

またモンゴルの草原で現地の方のお宅(ゲルと呼ばれるテント)にお邪魔したとき、日本から持って行った米でご飯を炊くのに、ご飯を研ぐという作業を ちよろちよろ流れる小川で行ったのですが水の量が少なく30分も掛かったことを思い出します。当然生で飲める水は限られ、チャイというお茶で頂くか、羊のスープで頂くかということになります。馬の乳で作った馬乳酒は貴重な水資源でした。

自然界には本当に限られた水資源しかないことをこれだけでも感じた次第です。アフガニスタンで灌漑工事を行って凶弾に倒れた中村さんは、どれだけの偉業をなされたのか胸に熱いものがこみ上げます。

さて、地区においては、1月の国際協議会から戻られた松浦GEが地区チーム研修セミナーを開催してご自分の年度のテーマ「地域に希望を育てよう」を発表されガバナー補佐と地区委員会の委員長の皆様とのお考えを共有されました。





この地区チーム研修セミナーの翌日は第8グループのIMが様似町で開催されました。地域の若くて元気の良い農家さんお二人を壇上に上げてご自分の経営についてお話をいただいた後は、ロータリーについての質問攻めで、外から見るロータリーについて参加者全員と共有させて頂きました。

しかし2月のハイライトは、ロータリー国際スキー同好会のスキーウィークが倶知安町で開催されたということでしょうか、26名の外国の方（アメリカ、オーストラリア、カナダ、アルバニア）のほか関西から20名、信濃から2名、関東から10名それに地元の倶知安RCの方々ということで大変国際色豊かなイベントでありました。幸い天気もそこそこ良く粉雪を楽しんでもらうことも出来たようで、怪我も無く終了しホッとしています。最終日によろやく羊蹄山が顔を出してくれました。第6グループの吉田ガバナー補佐さんが八面六臂の大活躍でホストクラブを務めて頂いた倶知安RCに留まらずグループ内の小樽RC、小樽南RCと蘭越RCを巻き込んで大いに国際親善活動に励まれました。感謝です。





RI会長エレクトが 2023-24年度会長テーマを発表

サウス・クイーンズフェリー・ロータリークラブ（スコットランド）の会員であるゴードン R. マッキナリー国際ロータリー会長エレクトは、1月9日、米国フロリダ州オーランドで開催されたロータリー国際協議会で講演し、2023-24年度会長テーマ「世界に希望を生み出そう」を発表しました。この講演でマッキナリー氏は、問題を抱える国で平和を推進し、紛争の影響を受けている人びとを助け、過去のリーダーたちが始めたイニシアチブを引き継いでいくよう会員に呼びかけました。また、世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超える可能性を切り開いていくことを求めました。

「私たちの目標は、破壊的な紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私たち自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となります。」とマッキナリー氏は述べました。

また、タイで出会った一人の女性の話を紹介しました。そこでは、2004年末に南アジアを襲った津波の後で、ロータリー会員が家屋や集会場、保育・医療施設の建設にあたっていました。津波で夫、娘、息子を失くし、生計手段も失ったというその女性は、マッキナリー氏にある物をプレゼントしました。それは、美しい貝殻でした。

「彼女は、ロータリーのおかげで前向きな気持ちを取り戻すことができたと話していました。私たちは彼女に希望を与えたのです」とマッキナリー氏。「これこそ、ロータリーが世界にもたらしている変化です。この変化が、一つずつ希望を取り戻し、新たな希望を生み出しています。」

平和の推進

世界に希望を生み出す重要な方法となるのは、平和に重点的に取り組むことだとマッキナリー氏は述べ、過去1年間、ロシア軍による侵攻を受けたウクライナの人びとを支援するためにロータリー会員が行動してきたことに言及しました。ロータリーが人道的支援に力を入れたことで、ウクライナでのロータリー会員数は増えています。しかし、ウクライナだけでなく、イエメン、アフガニスタン、シリアをはじめ世界の多くの地域で平和が実現しない限り、本当の安らぎはないと指摘しました。

「平和とは、希望が根づくための土壌です」とマッキナリー氏。

継続の力についても強調し、過去のリーダーの取り組みを継続するよう会員に呼びかけました。自身も、シェカール・メータ2021-22年度会長が立ち上げた「女児のエンパワメント」イニシアチブを継続し、ロータリー全体で多様性、公平さ、インクルージョンを強調し続けていくことを約束しました。また、ポリオ根絶への継続的な取り組みの重要性を物語る最近の一連の出来事にも触れました。過去1年間、世界各地でポリオ症例が再発しており、ロータリー会員がポリオ根絶活動をリードすることが今まで以上に重要となっています。

このため、ロータリーが毎年5,000万ドル以上を集め、ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの2倍額の上乗せ資金を確保しなければならないとマッキナリー氏は話しました。現在、ポリオ根絶に寄付している会員は約12人に1人に過ぎず、毎年寄付しているクラブも5分の1を下回っています。

マッキナリー氏は、「ポリオのない世界」というロータリーのビジョンを実現するために、クラブの中に新たな緊急感を生み出すよう地区ガバナーエレクトの協力を求めました。「各年度に何をすべきかではなく、それを超えて考えるべき時が来ています。できるだけ早く実現するために必要なあらゆるリソースを、私たちが提供していかなければなりません。」

メンタルヘルスへの取り組み

マッキナリー氏はさらに、新型コロナウイルスの世界的流行によって深刻化しているメンタルヘルスの問題の影響を受けている人たちに、ロータリー会員が希望を与えるべきだと述べました。多くの人が家族を失い、社会的つながりを断たれ、特に若い人たちの教育や育成が妨げられています。その結果、世界でメンタルヘルスの問題に直面する人が増えています。しかし、助けを求めることは弱さの現れであると考えられることが少なくありません。

「真実から目をそむけることはできない」とマッキナリー氏。「助けを求めることは勇気ある行動です。健康と幸せにいたる道を求めることは、さらに勇気が要ることです。」

次年度以降、ロータリーはメンタルヘルスサービスの改善に取り組んでいくとマッキナリー氏は続け、ロータリーは会員と奉仕を受ける人の両方を支える組織として知られるべきだと述べました。「メンタルヘルスの専門家なら誰もが口をそろえてこう言うでしょう。ほかの人を助けることで、本質的に自分自身が助けられるのだ、と。」

講演の最後には、継続と革新の理想的なバランスについて述べました。「ロータリーは、平和、機会、生きる価値ある未来の土台を築いています。私たちが得意とすることを継続すると同時に、変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができます。」

トルコ・シリア大地震義捐金のお願い

さて、既に様々なメディアを通じて報道されておりますが、2023年（令和5年）2月6日の早朝にトルコ南東部とシリア北部の広い範囲で強い地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。

死者はトルコ・シリアで合わせて5万人以上に上り、トルコでは191万人以上が避難生活を余儀なくされ、地震によって倒壊した建物や倒壊のおそれがある建物は、少なくとも17万3000棟に上っております。

亡くなられた方々にお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

ロータリー財団でも支援のためのプロジェクトについての寄付金を募っておりますが、当地区では各クラブ皆様のご理解と御協力のもと、被災者の生活再建援助、支援を目的に義捐金を募り、被災地区であるトルコ第2430地区へ直接お届けすることと致しましたので、下記口座にお振込み戴けると幸甚に存じます。

義捐金のお振込みの期限は**3月24日（金）**とさせていただきます。それは今回、海外送金手続きをガバナー会が代行する為であり、誠に申し訳ありませんが期限を超えた振込につきましてはご対応出来かねますので、何卒ご了承のほどお願い申し上げます。

何卒、各クラブの皆様の温かいご支援・ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

振込先口座：北洋銀行・北五条通支店（313）普通預金 口座番号3365275

国際ロータリー第2510地区ガバナーエレクト事務所

地区財務委員長 川端 忠範(かわばた ただのり)

なお、ロータリー財団への寄付はMy Rotaryにおいてクレジットカードにて寄せることが可能ですので、どうぞ協力の程よろしくお願い申し上げます。

ガバナー 石丸 修太郎
地区代表幹事 河口 義憲



国際ロータリー第2510地区 石丸修太郎ガバナー事務所

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階

電話 (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512

E-mail: rid2510@pxva.ne.jp

Dear District Governors of 2022 – 23; トルコからのメールです。

RI President Jennifer Jones started her term saying “Imagine Rotary”; so we did. But this was not what we imagined. Our country, Turkey, was hit by two strong consecutive earthquakes three weeks ago. Many historical cities, towns, and villages do not exist on the map anymore. For example Antakya and Iskenderun, where people from different religions and ethnic groups were living in harmony, have been demolished. Many mosques, churches, synagogues as well as homes, hospitals, schools and main roads collapsed. For example Adiyaman, home of Mount Nemrut, once a World Heritage Site by UNESCO, is devastated. And this list goes on...

We have more than 50,000 casualties, more than 100,000 injured, and thousands homeless. Children don't have schools, playgrounds, parks, or even shelters to sleep. People lost their loved ones, friends, and relatives. We lost Rotarians, Rotaractors, and Interactors. People lost their jobs. All of this means one thing; we, Rotarians and Rotaractors and even Interactors, have so much work to do. We must work harder.

Thanks to the wonderful global Rotary family, we are not alone. We have been feeling the friendly support of RI and TRF from the beginning and we are very thankful. There are districts who transferred from their DDFs and there are districts, clubs, or individual Rotarians who sent their generous donations.

We, all Turkish Rotarians, have been working with all of our capacity since the first hours after the earthquake.

But as I said before, we still have so much to do. So, once again we invite you to join our recovery efforts by sending your donations and / or transferring some of your District's DDF to D2430's DDF. Please watch the video, provided in the link below, of what has been accomplished and what needs to be done.

<https://we.tl/t-58Hr2rnThE>

(You need to download first)

Personally, I am ready to assist you for your donations. Please don't hesitate to contact me.

Thank you very much for your support.

PDG Canan Ersoz

DRFCC – D2430, Turkey (翻訳文は次ページ)

2022年～23年の地区ガバナーの皆様へ

ジェニファー・ジョーンズRI会長は、「ロータリーを想像してください」と言って任期をスタートさせました。しかし、これは私たちが想像したものとは違いました。私たちの国、トルコは、3週間前に2つの強い地震に連続して見舞われました。多くの歴史的な都市や町、村が地図上に存在しなくなっていました。例えば、異なる宗教や民族の人々が共存していたアンタキヤやイスケンデルンは取り壊されてしまった。多くのモスク、教会、シナゴグ、そして住宅、病院、学校、幹線道路が倒壊しました。例えば、かつてユネスコの世界遺産に登録されたネムルト山のあるアディヤマンは壊滅状態です。そして、このリストは続きます...

5万人以上の死傷者、10万人以上の負傷者、数千人のホームレスがいます。子ども達には学校も、遊び場も、公園も、眠るためのシェルターさえありません。人々は、愛する人、友人、親類を失いました。ロータリアン、ローターアクター、インターアクターも失いました。人々は職を失いました。私たちロータリアン、ローターアクター、そしてインターアクターも、やるべきことがたくさんあります。私たちは、もっと働かなければなりません。

世界中の素晴らしいロータリー・ファミリーのおかげで、私たちは一人ではありません。RIとTRFの友好的なサポートを当初から感じており、とても感謝しています。DDFから送金してくれた地区もありますし、惜しめない寄付を送ってくれた地区、クラブ、あるいは個人のロータリアンもいます。

私たちトルコのロータリアンは、地震発生後の最初の数時間から、全身全霊を傾けて活動してきました。

しかし、先ほども申し上げたように、私たちにはまだやるべきことがたくさんあります。そこで、今一度、皆様からの義援金や、ご自分の地区のDDFの一部をD2430のDDFに振り替えるなどして、復興支援にご協力くださいますようお願いいたします。以下のリンクにあるビデオで、何が達成され、何がなされなければならないかをご覧ください。

<https://we.tl/t-58Hr2rnThE>

(最初にダウンロードする必要があります。)

個人的に、私はあなたの寄付のためにあなたを支援する準備ができています。ご遠慮なくご連絡ください。ご支援ありがとうございました。

PDG Canan Ersoz

DRFCC - D2430, トルコ

義援金へのご支援どうぞよろしくお願い申し上げます。



水と衛生月間

国際ロータリー第2510地区

2022-2023年度 ガバナーノミネー

出村 知佳子

(札幌北RC)

3月11日で東日本大震災から12年になります。津波等の甚大な被害、深刻な原子力事故の恐怖を思い出します。私達自身も地元の皆様が原発事故による汚染に不安でいっぱいの中、当該年度の佐々木パストガバナー、熊澤パストガバナー、久保田元地区代表幹事、杉江元地区代表幹事の御理解のおかげで、マッチンググラントの申請、タイ第3340地区・第3350地区の御支援を得て、福島の子育て支援施設に400個の線量計をお届けでき、ロータリー、ロータリー財団の迅速な支援に感動しました。

さて3月は「水と衛生」月間です。また3月22日は国連総会で定められた「世界水の日」です。水がとて大切であること・きれいで安全な水が使える重要性を、世界中の人々が一緒に考える日です。水問題は発展途上国地だけでなく先進国でも、人々の命、生活、経済そしてジェンダー平等を考える上で最重要事項です。きれいな水を利用できることは基本的人権ですが、世界には適切な衛生設備を利用できない人が25億人、安全な飲み水が得られない人が7億4,800万人、毎日1,400人の子供が、劣悪な環境下で命を落としています。さて、当2510地区では、2019年からグローバル補助金にて「Safe water Save the Children in Northeast Thailand by Village Cultures」の「水と衛生」の事業を実施、DDFと国際奉仕・VTT委員会と地区内24クラブの協力も得て実施、コロナ禍の中で無事完了しました。特に事業では、持続可能な衛生環境、水施設の利用、そして何よりも子供達への「WASH」衛生教育に力を入れ、完了後も持続可能な事業であることを確認しました。具体的には、地域の特性や古い伝統を生かし、リサイクル石鹸の製造・販売をするシステムにより、持続可能な浄水システムの維持し、保健所の協力を得た手洗い指導等、子供たちに国際レベルの「衛生教育」を提供しています。コロナ感染拡大の中、適切な衛生設備を使う重要性も痛感しました。これまで私たちは、タイ東北地域、カンボジア、インドネシアで約20年間に及び多くの水プロジェクトを実施しましたが、このグローバル補助金事業により、事業が持続可能に発展したことに大きな喜びを感じます。この経験から、地域の「水と衛生」問題に重要な「メコン河」の汚染問題を考え、現在「環境の保全」のグローバル補助金で「Save mother Mekong" for future generations by Community TEAM and ECO circulations」の構築に取り組んでいます。母なる「メコン河」の環境問題には隣国の多世代の理解、特に若い世代の取組みが重要です。

さて3月13日は「世界ローターアクトの日」です。2015年から実施した職業訓練事業のグローバルから今年度ローターアクトクラブが誕生、「環境保全」のTEAMの一員として活動しています。「水と衛生」、「環境保全」とともに、専門家、行政、地域社会、子供達、ロータリアン、ローターアクターが協力し、社会に変化を与え、未来を形成しています。皆様のTAKE ACTIONとロータリー財団へのファンディングに心より感謝申し上げます。



第4期RLIパートⅢを終えて

国際ロータリー第2510地区 RLI委員会

委員長 平川 香織
(札幌手稲RC)

今年度当地区の「第4期RLIセミナー」は、先日2月5日にパートⅢを終え、今期パートⅠ～Ⅲを全て無事終了いたしました。多くの皆様に受講いただきましたこと、心より感謝申し上げます、ここにご報告させていただきます。

パートⅢは、石丸ガバナー、松浦ガバナーエレクト、出村ガバナーノミニー、小山地区代表ファシリテーター、福井地区研修委員、オブザーバーとしてローターアクト1名のご参加と、そして33名の受講者の方々にお申し込みいただきました。

前回パートⅡのご報告時に、セミナーは3つのパートで構成されており、パートⅠは「ロータリアンとしての私」としての私たちロータリアン一人ひとりが学ぶべきテーマから、パートⅡでは「私たちとクラブ」として、私たちの所属するクラブがより効果的なクラブに成長するための課題がテーマとなっているとお伝えいたしました。今回のパートⅢは、そのパートⅠとパートⅡでの学びを基に、より幅広く奥深いロータリーの世界を学ぶという「私のロータリーの旅」となっています。

6つのカリキュラム・フレーム

標準カリキュラムセッション



当地区では、これらのテーマから、受講者が構造的・体系的なカリキュラムの展開の流れを意識しながら、段階を踏んで取り組んでいただくため、パートⅠから順に受講していただくこととしております。基礎・基本をしっかりと知り、そこから深めていくことで、「私たち一人一人のロータリアンとしての成長とロータリー観の確立」が成されると思っております。

今回パートⅢを修了された方は31名、うち26名の方が全パートを修了されました。パートⅢ終了後のアンケートでは、セッションの進行役であるディスカッションリーダー（DL）への評価が高く、また、その進行内容や技法に関心を持たれた方が多くいらっしゃったのが印象的でした。また、順に受講されているので、受講者の皆様は徐々にディスカッションに慣れてきて、発言に余裕が感じられました。

今後は、**3月5日（日）**に今回の修了者を中心に「**DL研修会**」をオンラインにて実施いたします。今後のDLの誕生を願うのはもちろんですが、このファシリテーション方式はクラブ運営や委員会運営また様々な会合に活かされ、必ずや自分のスキルとして役立つと思っております。今回は、RLIの基本についてとファシリテーション・ガイド、また第2620地区の中村皇積ガバナーエレクトに模擬セッションを行っていただき、DLとしての視野を広めていただく内容となっております。

また、**5月7日（日）**に「**卒後コース**」をオンライン開催いたします。「卒後コース」は、パートⅠ～Ⅲでは学ばなかった内容になっており、全パートを修了された方は誰でも参加できます。講師として、小山地区代表ファシリテーターと、RLI日本支部地区支援チームのサブリーダーである第2830地区山崎淳一パストガバナーと、第2620地区中村皇積ガバナーエレクトにご出席いただきます。

今年度の受講者の皆様が次年度この経験を活かし、ご活躍されますこと、また次年度も、多くの方との出会いの中から、多くを「学ぶきっかけ」をつかんで、クラブの活性化に繋げていただけますよう尽力してまいりたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。



DL研修会 2023年 3月 5日(日)
卒後コース 2023年 5月 7日(日)



国際ロータリー第2510地区補助金委員会より

国際ロータリー第2510地区財団補助金委員長 兼

ロータリーカード推進委員長

大川 武志
(恵庭RC)

国際ロータリー第2510地区財団補助金委員長とロータリーカード推進委員長を務めさせていただいております恵庭RCの大川武志です。

日頃から地区補助金事業やロータリーカードに対し、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、今年度も後半戦に突入しました。今年度は、38クラブに地区補助金を申請いただきました。毎年たくさんのクラブからの申請をいただいております。様々な事業を実施していただいております。また、2月7日現在9クラブからの報告をいただいております。事業が終了しているクラブにおきましては報告書の提出をお願い致します。

後半戦と言う事は、各クラブも次年度の準備が始まっていると思います。次年度の地区補助金申請期限は、今年度同様の2023年4月30日です。コロナ禍で出来なかった事業も復活すると思います。是非、地区補助金を利用した奉仕活動をご検討下さい。

尚、今年度の報告書と次年度の申請書一式は、地区ホームページの地区委員会情報から財団補助金委員会に入ってください、それぞれをダウンロードしてご活用下さい。

今後とも、地区補助金の積極的なご活用とロータリーカードの積極的なご利用をお願い致します。

**<次年度地区補助金申請期限>
2023年4月30日**



「第7回学友交流・帰国報告会」を終えて

国際ロータリー第2510地区 学友委員会

委員長

鈴木 抄織

(札幌大通公園RC)

2023年1月28日(土)、ロイトン札幌を会場にリモートと併用のハイブリッド方式にて、「第7回学友交流・帰国報告会」が開催されました。学友委員の皆様を始め、多くの関係委員会の皆様、米山学友会、財団学友会の皆様にご尽力いただき、無事に終了することができましたことを心より御礼申し上げます。

過去2年間はコロナ禍の影響を受け、活動を延期・休止せざるを得ないプログラムもあり、規模を縮小しての開催でしたが、今年度はようやく全てのロータリー学友(青少年交換、RYLA学友、インターアクト、ローターアクト、米山奨学生、ROTEX、財団奨学生、国際奉仕・VTT)から、総勢12名の皆様に報告してもらうことができました。また報告者だけでなく、現在当地区に留学中の受入青少年交換学生1名、次年度の青少年交換派遣候補生2名、米山記念奨学生3名、多くの学友も参加してくれました。

池田青少年交換委員長より「受入学生にとっては他のプログラムのことを知る機会になり、派遣候補生にとっては、留学に向けて素晴らしい勉強の場となった」、朴米山学友会会長より「コロナ禍で学友会の集まりもできず、留学中の奨学生とも会う機会がなかったので、実際に会えて話ができてよかった」との感想をいただき、学友交流の貴重な機会となったことを嬉しく思っております。従来は、報告会の後に懇親会を行い、お食事をしながら学友同士が語り合い、近況報告をするなど交流を深める場を設けるのですが、今回の開催はかなわず、次回のお楽しみとなります。

会場リアル参加とリモートのハイブリッド方式にしたことでも、多くのメリットがありました。カナダに留学中の青少年交換、水野日菜子さんは、14時間の時差がありながらリモート参加で、現地から報告してくれました。また、地区内の遠方のクラブからも多くの方にご参加いただきました。道外からは日本ロータリー学友会、そして当地区の財団学友で現在第2780地区鎌倉ロータリークラブ会員の鈴木正さんをご参加くださいました。このように、留学生や遠方の多くの方と共有できたことは大変有意義な体験であり、ロータリーの様々なプログラムへのご理解を深めていただくことにつながると思います。次回以降も、より多くの皆様にご参加いただけるよう、周知活動をしてまいりたいと存じます。

今回の報告者の皆さんを含め、ロータリー学友は各プログラムに参加が決定した時点から学友となります。学友会は、ロータリーとのつながりを再構築することを目的に活動しており、ロータリーフェローズと呼ばれる新しい形の学友会が全国的に広がりを見せています。学友委員会は、青少年交換、RYLA学友、インターアクト、ローターアクト、ROTEX、米山奨学生、財団奨学生、VTT学友を対象に、これらの学友とロータリーをつなげる組織としての学友会活動を支援しており、「学友交流・帰国報告会」を毎年開催しております。今回は、財団学友会の鈴木洋史会長が司会の大役を努めてくださり、学友の皆様へ受付業務をお手伝いいただきました。次回以降も学友参加型の会を目指し、学友の交流の場を広げてまいります。

最後になりますが、石丸ガバナー、学友委員の皆様、関係ロータリアン、学友会の皆様、ガバナー事務所寺島様に多大なご協力をいただき、無事に終了することができましたことに深く感謝申し上げます。





ISFRニセコウィークが開催されました

国際ロータリー第2510地区

第6グループ ガバナー補佐

吉田 聡

(倶知安RC)

ISFR (International Skiing Fellowship of Rotariansの略称) について詳しくは、次のURLをご参照ください。 <https://isfrski.org/>

北米で1974年に生まれたこの団体が、「日本でスキー・ウィークを実施したいと言っているんだけど」と石丸ガバナーから初めて聞かされたのが、2021年の12月頃。いったい何をやっている団体かと思い、ネットで検索すると障害者と健常者が一緒にスキーを楽しむ活動をサポートしている団体で、北米、ヨーロッパのロータリアンが中心になって活動をしていることが分かりました。

そんな世界のロータリアンが日本にやってきて日本の障害者のスキーをサポートしたいと言っているらしく、はて、北海道の障害者のスキー事情はどうなっているかと思い、調べてみたものの、全くと言って情報が無い。倶知安町在住でパラリンピック出場経験のある選手に聞くと障害者のスキー人口は数えるほど、しかも、チェアスキーでリフト・ゴンドラに容易に乗れるスキー場は日本にないらしいということが分かった次第です。

北米、ヨーロッパのスキー場のスキースクールには障害者用のレッスンが用意され、レンタルチェアスキーも豊富に用意されているらしい。

我が町倶知安町が誇るニセコグランヒラフ・スキー場にさえ、そんな用意は一つもない。

これが日本の障害者スキーに対する現状なのであろう。これで、冬期オリンピック・パラリンピックの誘致だなんて、お恥ずかしい話です。

障害者の方には、スキーやってみたい、でも…と諦めている、諦めた方がきつというに違いない。こういった方々へのサポートをロータリーも考えるべきではないだろうか？

ISFRの招致にあたって気づかされた大きな、大きな課題です。

さて、招致にあたり、前例がないだけに開催内容はほぼ手探り。本格的に準備に入ったのは約1年前。北米本部とのZOOMでの会議は、10回くらい重ねただろうか。

開催は2023年2月11日から18日間。倶知安町のニセコグランヒラフスキー場そばのホテル・ミッドタウンニセコを会場に米国、カナダ、豪州、アルバニアからの海外参加者26名、大阪南RCの20名をはじめ、東京各地のRC、白馬RCなどから総勢60名ほどの人員が参集してスキーウィークは始まりました。

2月14日は小樽RCの例会を訪問し、小樽RC及び小樽南RCメンバーが準備していただいた伝統芸能松前神楽、空手演舞を堪能し、ちょうど開催されていた小樽雪明りの道を楽しんでもらえたようです。

2月15日には、参加者が持ち寄った商品をオークションにかけ、集まった約25万円を蘭越町の児童養護施設愛星学園に蘭越RCを通して寄付させていただきました。

GOVERNER'S Monthly Letter's

2月17日には、フェアウェルパーティーを倶知安RCで開催し、石丸ガバナーをはじめ、第6グループの各クラブのメンバーも駆けつけて総勢73名のパーティーとなりました。

倶知安町が誇る地域芸能の羊蹄太鼓の演奏、倶知安RC会員による真剣による演武でお楽しみいただき、最後の締めには、「手に手つないで」を全員で歌いました。手に手つないでは、日本RCだけの習慣かと思っていたら、英語版もあるんです、英語の手に手繋いで、まさに「世界と共に」です。

コロナ明け三年振りに手を繋いだ、と言って喜んでるメンバーが数多くいらっしゃいました。コロナでいかに人の結びつきが弱くなっていたか、みんな待ちに待っていた瞬間だったのでしょ。

ご参加いただいた国内外のメンバーの皆さん、ご満足してお帰り頂いたようで何よりです。お礼のメールを多数いただき、準備に費やしたこの1年は無駄ではなかったと思えます。最後に開催にあたって、ご協力を賜りましたメンバーの皆様に感謝申し上げます、ありがとうございました。





RI第2510地区第8グループ 2022～2023年度インターシティ・ミーティング

国際ロータリー第2510地区

第8グループガバナー補佐 高村 洋子 (様似RC)

如月には珍しいほどに、暖かな気温と穏やかな日に恵まれた去る2月19日(日)午後1時、様似町立図書館「視聴覚ホール」にて開催されました。

殆どのグループも同じである様に、我がグループもパンデミック渦中で2年間IMは開催されていない。今期も不安を抱えての実行委員会スタートでしたから、改めて前山田AGのご苦勞を察した次第でした。

IMのテーマ「私たちが目指す“未来”とロータリー！・・・イマジン！」

第8グループ地域内の若き経営者(事業人)と共に語る「未来」と「ロータリー」！

今現在ロータリアンではない経営者の“今”のチャレンジと、思い描く「未来」私たちロータリアンがロータリーの理念をもとに目指す「未来」を、異なる視点で論者から意見を聞き、テーマについて探求する。

このIMを通して、参加されたみなさんに“これから目指すクラブの未来”を考えるきっかけとヒントにして頂けたら幸いと願い、企画致しました。



重点

*話題提供として「基調講演」..私の歩んできた道と、歩もうとする道
～新しい農業経営を目指して～イマジン！

浦河町「菅農園 代表 菅正輝氏

*トーキングフォーラム

ファシリテーター 地区RLI委員長 平川香織氏(札幌手稲RC)

参加者 地区RYLA委員長 齊藤朋博氏(札幌幌南RC)

増強対策小委員会 赤木道子氏(札幌北RC)

三石会長エレクト 橋本勝司氏(三石RC)

様似町「養豚事業人」西川雄喜氏(駒谷農場)

話題提供者 菅 正輝氏(菅農園)

*タイTH検証ツアー 報告

地区国際奉仕・VT T委員長 富岡 豊(静内RC)

*ポリオ(END POLIO NOW)・・・募金活動

基調講演から

農家の4代目候補として三人姉弟の末っ子として生誕。スポーツ推薦を受け大学卒業後もスポーツ関係に勤務するが父親の事故負傷がきっかけで就農決意。10年後農園の事業継承後、次々と会社を設立～ベリーベリークレイジー(札幌ススキノ)等

事業継承と言う「強み」をさらなる強化、「大規模の弱み」を「強み」に生産のみならず、販売、飲食加工と新しい「農業経営」を目指している。魅力が無ければ絶えてしまう！だから農業経営の入り口は何処からでも良い。

俯瞰的視点から、消費環境への対応や長期化するコスト上昇へのリスクヘッジ、競争激化も踏まえて「未来」の農業者、担い手への魅力(楽しい、自分らしく、儲かる、顔の見える)を発信する為に催事にはなるべく駆けつける。

市場の言葉「売れる良いイチゴを作れ」

オヤジの背中「プライドを捨て、年代を問わずわからない事に教えを請う姿」 自分も子供に見せられる「背中を」。



ポリオ撲滅「END POLIO NOW」！

IMの「ウエルカムボード」として。

私の個人的な友人「飯田比呂美さん」はポリオ(小児まひ)患者です。

「べてるの家」に関わった頃に出会った比呂美ちゃん。勿論、お互い顔も知らない中で「絵手紙文通」が始まりました。もう20年来の文通です。

現在は、私が作った野菜をお届けしているのです(顔見知り)。

ポリオに負けず、懸命に一日一日を大切に暮らし趣味の絵手紙に、腕を磨いて来た「作品」をご披露させて戴きました。そして、その前で募金活動の募金箱を設置致しました。皆様の熱い想いに感謝申し上げます。ありがとうございました。



トーキングフォーラムから

今期目標「会員増強」！第8グループ全てのクラブの最重要課題でもあります。過疎地における法人の吸収合併、高齢化による生産人口減少、学業の為学生の都市部流出と理由をつければいくらかでもある中、決してあきらめるわけではありません。IMをチャンスと捉えて一同に会し今一度「イマジン！」

会員と会員外の若き経営者が人と人として(気前よく情報を分かち合う)友達になろう。



第2510地区の各委員長には大変お世話になりました。前日には次年度松浦ガバナー年度の委員長会議がお有りだったとの事。

早朝より190キロの道のりを駆けつけて頂きました。ファシリテーターの平川委員長のリーダーシップにより午前中から「打ち合わせ」、昼食後のスタート。

各ロータリアンから若き事業人にロータリーの良い所をわかりやすく紹介～

若き事業人から～一歩外から見た“ロータリークラブ”！

「ロータリーを知っていましたか？」

- * よく分からない？が父親が長崎県出身であり、高校生の時RCの奨学金で豪州に学んだ事を聞かされた。
- * 駅前のバス等が廻る“ロータリー”なのかなぁ？程度なら。(爆笑)
- * 各クラブは素晴らしい奉仕活動しているが、知られていないのは広報活動が不足している。(ロータリアンはひけらかさなかった)
- * 世代（Y世代、Z世代）差があるかと思う。自己主義世代では奉仕という言葉自体が馴染まない。
- * まずは知ってもらう事が「増強」に繋がる。発信が大事。
- * 女性増強“若者(誘う自分より一歳でも下であれば若者)”小委員会では、問題の洗い出しをしている。
- * 地区には現在188名の女性会員が、リモート会議をしてみたい。
- * RYLA委員会では青少年養成プログラムに力を入れている。ロータリアンがそのカウンセラーを引き受ける事で自分の成長を実感する。
- * ロータリーのLOGOが「カッコいい」！マークのTシャツとかグッズ等作っては？
- * ロータリーに入会すると「直ぐ120万人(世界のロータリアン数)の友達が出来る。
- * 経営者は兎角、孤独なもの。RCは上下無く平たい関係で助け合える。
- * 他所のクラブを覗く(メイキャップ)=知らない世界の「扉を開ける」そして自分のクラブへフィードバックする事。
- * RCの空気感、イメージ等距離感を縮めるよう「体験例会」の企画。

平川ファシリテーターから

結論を出すものではありませんが、RCは高い志、使命感、奉仕の心、国際親善、職業を通して貢献する、人としての倫理、価値ある人道的奉仕団体である。

「思い描く未来とRCの未来。目指す！ロータリークラブ未来へのきっかけ！」

最後に「ポツンと一軒家」の 西川雄喜氏曰く

「僕はキリンを飼いたい！と。

～exciting(ワクワクする)町になりそう～私の個人的感想～です。



IMを開催出来なかった山形AG(えりもRC)と山田 AG(静内RC)へ“イマジン”！

そして私 AG(様似RC)と三人の思いから～

二人の農業経営者の「絶品」を参加者の皆様にお持ち帰り頂きました。

～さて、ご感想はいかに～

百寿と50周年のお祝い

千歳ロータリークラブ（喜多康裕会長）は2月9日に千歳市のANAクラウンプラザホテル千歳で開いた通常例会で、今年で100歳を迎えられた丹治秀一パスト会長の「百寿」と「ロータリー歴50周年」をお祝いしました。

丹治パスト会長は1923年（大正12年）2月6日生まれ。現在は木材チップ素材製材生産販売「丹治秀工業」の会長と千歳分収造林組合の顧問を務めています。当クラブ入会は1972年9月で、84～85年には会長を務め、今年度50周年の節目を迎えられました。



これまで当クラブの継続事業である分収造林事業の立ち上げと運営にご尽力をいただきました。分収造林事業は当クラブが行っている事業のうちでも大きな存在です。千歳市の支笏洞爺国立公園内の国有林の一部分を収造林として長期間、管理運営するものです。

1991年からの80年契約の事業で、場所は千歳ふ化場の上流部に位置する千歳川第4発電所付近の千歳市蘭越地区。92年5月にアカエゾマツ苗木7300本を植栽し、その後、さらに約500本増やしました。名称は「千歳ロータリーの森林（もり）」。草刈りや間伐などの手入れ作業を定期的に続けており、丹治会長はその中心を担われてきました。

通常例会では、喜多会長は「分収造林は北海道、日本のロータリーの事業の中でも有名。模範として少しでも近づけるよう頑張っていきたい。健康にご留意され、引き続きご指導ご協力をお願いしたい」とお祝いの言葉を述べました。福田武男パストガバナーは「ロータリアンとしては50年が一つの目標。精神的なサポートをいただいた」、武石忠俊パスト会長は「分収造林で一生懸命頑張っていたいただいた。長生きして記録をつくってください」と祝福しました。

当クラブからの記念品として、オリジナルの「ロータリー徽章」「ロータリーバッジ」をプレゼントさせていただきました。

丹治パスト会長からはお礼として、長寿を象徴するタンチョウの木彫りを各会員に頂戴しました。丹治パスト会長は「私のために時間を割いていただき、立派な記念品を頂戴し、長生きできたことは国際ロータリー千歳ロータリークラブの皆さんのおかげ」と感謝。分収造林に触れ「皆さんの手であそこまで育てていただき、一生懸命手入れしていただいているご恩は感謝とお礼を申し上げる。少しでも長生きをして国際ロータリー、千歳ロータリークラブのためにお力になることをお約束する」と力強く話されました。

丹治パスト会長は百寿を祝う桃色のちゃんちゃんこを着て、会員と記念撮影。ますますお元気なその姿に会員も元気をいただきました。



米山奨学生紹介

2022-23年度米山奨学生

周宇翔

北海道文教大学・札幌はまなすRC

「語学力を強みに」

私は北海道文教大学グローバル研究科2年生の周宇翔と申します。大学生の時は国際言語学科観光ビジネスコースに所属していましたが、自分はマーケティング貿易と経営運営に関心を持っております。大学4年間はそれに関わる課程に取り組んだ結果、マーケティング論、経営戦略論と経営学概論は沢山知識を吸収しました。長年の留学経験（日本、オーストラリア）は私の語学力を大いに向上させました。日本語だけではなく、中国語、英語で日常会話やビジネス会話をなめらかにすることもできるようになりました。授業の余暇には、当地の小中学校のコミュニケーションイベントに参加して、各年齢層との交流経験を得ました。

HBU 北海道文教大学



大学期間はバスケットボール部に入って、部活に参加して周りの先輩に支えてもらいながら一緒に練習し、チームワークの精神を感じました。北海道の大学バスケットリーグ戦まで参加しバスケットで活躍したり、積極的に部活に参加したりすることによって、唯一の外国人部員でありながら、他の部員たちの信頼を得て、愉快的雰囲気に入れ込みました。他にも大学期間は友人の外国語塾でアルバイトしながら、日本の職場経験を積んでいます。

私の大学院研究課題は飲食に関する慣用表現において用いられている言語表現そのものに焦点を当て、分析を行っています。慣用句は会話や文章で使うと、表現の幅を広げることができ、慣用句の表現内容を理解できれば、コミュニケーションがスムーズになります。言語における慣用句対照研究では、これまで民族性や文化・歴史、あるいは地理的条件などに基づくものが多く見られますが、言語表現そのものを分析対象として扱った研究は、それほど多いとは言えないからです。

今年大学院を卒業する留学生にとって、就職活動は学生時代最後の戦いと言っても過言ではありません。これからの就活経験が一生役に立つと思います。特に現在の日本において、就職活動は大変厳しく、特に留学生にとっては更なる厳しい状況となっています。留学生を採用する企業は多いですが、高い日本語能力が要求され、語学力は採用結果を左右しています。留学生にとって、言語という壁が高く、自分の希望通りに就職することは容易ではありません。留学生が日本で就職する夢を実現するためには、日本語能力以外にもさまざまな技能を身に付け、なんらかの対策を考える必要があります。それは良いチャンスであるとともに、チャレンジ精神が必要です、そこは覚悟をすべきです。現在就職の内定を決めた後でも、自分のキャリアが始まります。内定をもらったとしても、異文化理解と語学力の強みを発揮できるかどうか、将来はどんな人間になりたいかなどの課題を事前に考えておくべきで、そうすると就職も将来のキャリアも、よりもっと順調に進めると思います。もしこれから仕事でつまづいていても、それは失敗ではありません。なぜかという、失敗は成功のもとだと強く信じているからです。これからも頑張ります。



2022-23年度米山奨学生

「有意義な奨学生生活」

孔莉君

小樽商科大学・小樽南RC

皆様、こんにちは。小樽南ロータリークラブにお世話になっております孔莉君と申します。現在は小樽商科大学現代商学専攻の大学院2年生です。今年は日本に住んで3年目になり、日本の生活にはもう慣れました。私の故郷はめったに雪が降らないので、小樽に引っ越してきたときは大きな喜びと期待でいっぱいでした。最初は小樽に引っ越しても友達がいないので、居心地が悪く、少し寂しかったのですが、学校の国際交流会館に移ると、世界各国の友達ができました。そして、いろいろな国の習慣や文化に触れ、イベントに参加して、たくさんのことを学ぶことができました。

私の研究内容は職場におけるインクルーシブ・リーダーシップと従業員の心理的安全性及びその効果に関する研究です。「最高のチームを作る要因は何か」を突き止めるためにGoogleが2012年から約4年をかけて社内で行った実験「アリストテレスプロジェクト」で、チームの生産性やパフォーマンス向上に必要な要因のひとつとして「心理的安全性」があるという結果が公表されました。今まで「阿吽の呼吸」や「空気を読む」ことを大切にしてきた日本人に対して、心理的安全性を作るのが難しいのではと考えたので、このテーマを選びました。

米山奨学生としての期間も、あっという間にあと一か月となりました。間違いなく、この1年間は私の今までの留學生活の中で最も充実した1年間だと思います。私は米山奨学生になってから、たくさんの方と交流ができて、日本文化と社会知識の勉強になって、とても有意義な奨学会だと思います。毎月例会に参加させて頂くことによって、皆さんの奉仕精神を凄く感じました。皆さんのお話を聞いて、ロータリー精神にも徐々に理解できました。そこで、自分は日本と中国の懸け橋になるだけでなく、将来的に社会に貢献し、世界平和のために寄与できる人間になることが期待されていると感じております。

また、ロータリー米山奨学金のおかげで安心して活動に励むことができました。修士論文も合格して、仕事も決めました。4月から札幌の西山製麺株式会社で働く予定です。私は北海道の美味しいラーメンを日本全国だけではなく、海外のお客様にも届けるようにがんばります。最後に、米山奨学生になって凄く幸運だと思っています。優しいロータリアンと出会い、たくさんのお話ができて、仲良くなったような感じがして非常にうれしいです。この縁が繋がりになって奨学生終了後でも、ずっと続けていきたいと考えております。

NIKI Hills Wineryの見学



2022-23年度米山奨学生

「タイと日本の架け橋に」

ナムプラデット・スパーパーン
酪農学園大学・岩見沢東RC

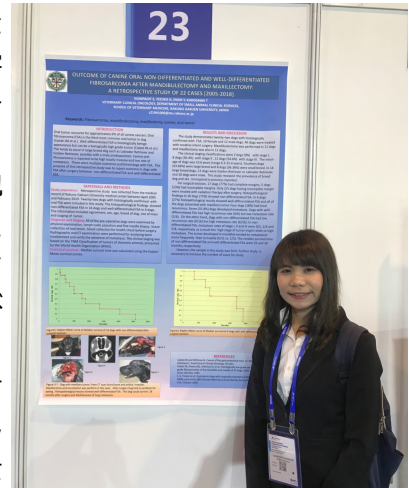
初めて日本の文化に触れたのは高校時代であり、これが日本語を勉強するきっかけとなりました。そして、大学時代にはタイの大学で第2外国語として日本語を選択し、さらに勉強を続けました。そうするうちに、自分の日本語能力を向上させたいという思いと、日本の獣医学ではどのような授業をしているのかという興味を強く抱くようになり、機会があったら日本に留学して獣医学を学びたいと思うようになっていました。大学6年生のとき、酪農学園大学にて3ヶ月間の交換留学をする機会があり、興味のある腫瘍学を学びました。数多くの症例と様々な治療法や診断方法を間近で体験し、日本の獣医療はタイより進んでいるということを感じました。さらに、一番感動したのは大学で働く先生方の治療に対する熱意でした。このことがきっかけで酪農学園大学院の獣医臨床腫瘍科で博士課程を修めようと決めました。

2017年にタイで学部を卒業して、約1年半タイ国内の動物病院で臨床獣医師として伴侶動物の診療を経験しました。そして、2019年に酪農学園大学院に入学しました。現在は、犬の悪性黒色腫に対する抗腫瘍ウイルス療法についての研究を行っています。犬の口腔内の悪性黒色腫は、腫瘍の中でも発生しやすく、転移しやすい特徴がありますが、治療法は困難とされています。現在の治療法は外科治療または放射線療法が主流であり、最近、免疫療法などの補助療法も応用されるようになりましたが、まだ発展途上です。そのため、新しい治療法を検討する必要があります。

現在、自分の実施した研究の情報を収集し、参考論文作成に取り組んでいます。「口腔内黒色腫細胞に対する組換えニューカッスルウイルスの腫瘍溶解効果」というテーマで海外雑誌に論文を投稿中です。さらに、犬における口腔内悪性黒色腫に対する治療目的での外科的切除の回顧的研究・外科的切除を行った眼窩髄膜腫の症例についても年内に臨床研究の情報を収集し、論文投稿に向けて準備を進めていく予定です。

また、研究と並行して臨床症例のデータを収集するため、附属動物医療センター腫瘍科の診療に参加しています。2019年10月には上海で行われた獣医学会にて犬22例における未分化及び分化型の線維肉腫に対する上顎・下顎切除の予後についてポスター発表を行いました。その他にも、複数の学外の動物病院でも実習を行い、幅広い症例に対応できる能力を身につけています。残りの大学院生活では、さらに臨床経験も積み、特に腫瘍外科について重点的に学び、有意義な日々を送りたいです。

現在のタイの獣医療は世界各国と比較すると多くの分野が発展途中であり、中でも高度な外科技術を持つ外科専門医や腫瘍の診断治療に精通する腫瘍科専門医は多くありません。卒業後は、タイの大学の動物病院腫瘍科にて勤務し、日本で得た腫瘍における臨床及び研究の知識を生かして、母国に貢献したいと考えています。また、タイと日本の獣医学部の学生間交流を発展させるために、交換留学などのプログラムを立ち上げることにも力を入れたいです。さらに、日本の新しい知見を常に取り入れるなどタイと日本の架け橋となる獣医師になるため、日本獣医師国家試験合格を目指します。北海道は私にとって第二の故郷です。



2023年メルボルン国際大会のご案内（第一報）



地区RI国際大会推進委員会

委員長

福井 敬悟

(札幌手稲RC・PG)

2023年国際大会は、5月27日（土）～31日（水）にかけて、オーストラリア・メルボルンにて開催されます。メルボルンはオーストラリア南東部の海岸沿いにあるビクトリア州の州都で、「エコノミスト」誌の「世界で最も暮らしやすい都市」で1位を獲得しています。

第一報として、メルボルン・シドニー7日間のコースをご用意致しましたのでご案内いたします。歴史的な建物や文化が残る自然豊かな落ち着いた都市・メルボルンと、近代的な大都市・シドニーを楽しめるコースとなっています。是非、ご家族お誘いあわせのうえご参加いただき、コロナ禍で旅行が制限され会えなかった友と、そしてまだ会ったことのない世界のロータリアンと、ロータリーの絆を深めましょう。多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

- ◎ 設定人数 : 20名様
- ◎ 申込締切 : 2023年1月31日（火）
- ◎ 旅行費用 : お一人様 400,000円

【 利用予定航空会社 】

国際線及びオーストラリア国内 : カンタス航空 日本国内線 : 日本航空

【 利用予定ホテル 】

メルボルン : モーベンピック ホテル メルボルン オン スペンサー（予定）
メルボルン駅 正面で国際大会会場まで徒歩15分の位置にあるデラックスホテル
シドニー : ソフィテル シドニー ウェントワース（予定）
シドニーの中心街にあり象徴的な建造物として知られているデラックスホテル

< 旅行費用に含まれるもの >

- ・航空料金 カンタス航空、日本航空のエコノミークラス ※ 2022年9月現在、燃油費用が含まれています。
- ・宿泊料金 メルボルン 3泊 シドニー 1泊 朝食付き ※ 2名1室利用
- ・日程表の送迎費用 空港とホテルの送迎及び、団体行動中は係員がご案内いたします。

< 旅行費用に含まれないもの >

- ・空港利用料、その他諸税 約20,000円（2022年9月現在のものの変動があります）
- ・任意 / 国際大会登録料（各自）、北海道ナイト参加費（各自）、
オーストラリアETAS電子入国査証（入国必要条件）OP（オプションツアー：食事、観光）、
海外旅行保険、一人部屋希望者追加費用 100,000円

【 ご案内事項 】

- ・参加人数を20名様で旅行費用を算出させて頂きましたが、人数に満たない場合は変更になる場合がございます。また、お一人部屋、ベッドタイプのご希望は施設の事情によりご希望に添えない場合もございますので予めご了承ください。
- ・なお、御取消料は国際大会による現地施設の都合により、お申込み後からは旅行費用の10%がかかります。その後、御取消料はお取消し日により取消料率が変わります。（国際大会期間の為、規定が厳しいことをご理解願います）

【 お申込み・お問合せ 】 : (株)産経海外旅行 札幌市中央区北1条西7丁目 タキモトビル4階
電話 : 011-271-5388 F A X 011-271-5621 担当 : 斉藤・矢田目

メルボルン国際大会 メルボルン・シドニー

旅行期間：2023年5月25日（木）～5月31日（水） 7日間

設定人数：20名様

| | 日付 | | 発着地 | 時間 | 交通機関 | 旅行行程 | 朝食 | 昼食 | 夕食 |
|---|-------|---|-----------------------------|-------------------------|---------------------|--|----|----|----|
| 1 | 5月25日 | 木 | 新千歳空港 発 羽田空港 着 羽田空港 発 | 17:00 18:40 21:30 | JL518 QF80 | 日本航空にて羽田空港へ カンタス航空にてメルボルンへ 機内泊 | - | - | 機内 |
| 2 | 5月26日 | 金 | メルボルン 着 | 09:00 | 送迎車 | 入国手続き後、送迎車でホテルへ ・メルボルン市内観光（OP） メルボルン泊 | 機内 | - | - |
| 3 | 5月27日 | 土 | | | | 終日：自由行動 ・メルボルン国際会議場 ・国際大会受付 ・友愛の家 グランドオープン メルボルン泊 | ○ | - | - |
| 4 | 5月28日 | 日 | | | | 終日：自由行動 ・開会 本会議 ・2510地区 北海道ナイト ※ ザ・ホテルウインザー メルボルン泊 | ○ | - | - |
| 5 | 5月29日 | 月 | メルボルン 発 シドニー 着 | 13:00 14:25 | 送迎車 QF444 送迎車 | ホテルより空港へ カンタス航空にてシドニーへ 到着後、空港よりホテルへ シドニー泊 | ○ | - | - |
| 6 | 5月30日 | 火 | シドニー 発 | 20:55 | 送迎車 QF25 | 終日：自由行動 ・シドニー市内観光（OP） ホテルより空港へ カンタス航空にて羽田空港へ 機内泊 | ○ | - | 機内 |
| 7 | 5月31日 | 水 | 羽田空港 着 羽田空港 発 新千歳空港 着 | 06:00 09:00 10:35 | JL507 | 日本航空にて千歳空港へ | 機内 | - | - |

※ 2022年9月現在のスケジュールに基づき作成しております。大会事務局、航空会社、利用施設の都合により変更になる場合もありますので予めご了承ください。

2022年11月19日

国際ロータリー ソーン1A.2&3

地区ガバナー /地区メルボルン国際大会推進委員長/クラブ会長 各位

国際ロータリー理事

佐藤 芳郎

メルボルン国際大会日本人親善朝食会開催ご案内

謹啓、ご清祥のこととお慶び申し上げます。ロータリー活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、国際ロータリー年次大会がオーストラリアの古都メルボルンにて2023年5月27日(土)から5月31日(水)まで開催されます。この素晴らしい国際大会の開会式が行われる2023年5月28日(日)に恒例の「日本人親善朝食会」を下記要領で開催いたします。国際ロータリーの長い歴史の中で初めての女性会長、ジェニファー・ジョーンズ会長のスピーチを予定しています。ジェニファー会長はカナダ・ウインザー市ご出身であり、神奈川県藤沢市と姉妹都市である関係で何度も日本を訪れておられ親しみを感じる方でございます。次年度のゴードン・マッキナリー会長エレクト(スコットランド)等VIPにもご出席要請をする予定です。皆様お誘い合わせの上、大勢のご参加をお待ち申し上げます。しかしながら会場の大きさに限界がありますので、先着順500名で締め切らせていただきます。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

- 〈日 時〉 2023年5月28日(日) 開場・受付 午前 7:00
朝食会 午前 7:30~9:00
ジェニファーPI会長他、ご挨拶を予定しております。
- 〈会 場〉 ZINC AT FEDERATION SQUARE (ジンク フェデレーションスクエア内)
住所 Cnr Princes Walk & Russell St Ext Melbourne Vic 3000 Australia
TEL +61 3 8637 0333
- 〈会 費〉 お一人 9,000円
- 〈定 員〉 先着500名 (締切日前に定員に達した場合はその時点で締め切らせて頂きます。)
参加ご希望の方は早めにお申し込み下さい。
- 〈ドレスコード〉 スマートカジュアル
- 〈締 切 日〉 2023年3月31日 申し込み開始は2022年11月24日から(R研究会以後)
※ キャンセル、返金につきましては2023年4月15日まで受け付けます。
なおそれ以後の返金はいたしかねますのでご了承下さい。
- 〈申し込み〉 下記アドレスでクラブ単位でまず参加人数をお申し込みください。
お申込みいただいたクラブに、振込方法、参加者氏名記入要請のメールを、後日配信致します。



<https://forms.gle/K4Ah7mXBNuTMJiXW8>

以下はメルボルンシティーガイドのビデオです。旅行の参考にして下さい。





朝食会場

佐藤芳郎国際ロータリー理事主催

日本人親善朝食会

～ 国際ロータリーの世界のリーダーと接するひととき ～

2023年5月28日(日)



朝食イメージ

より強い絆を ここメルボルンで深めよう!

7:00 開場・受付

7:30 開会

ジェニファー・ジョーンズ会長スピーチ
(予定)

9:00 閉会

申込書は別紙・先着順 **500**名まで

登録料 **9,000**円



佐藤 R1 理事

皆様にお会いするのが
楽しみです

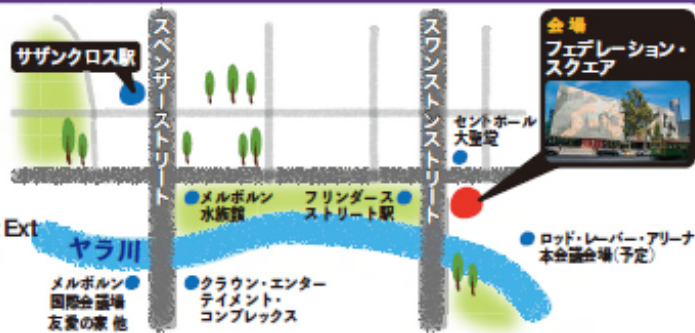


ジェニファー会長

会場周辺 Map

●会場
ZINC AT FEDERATION SQUARE
ジンク フェデレーションスクエア内

住所
Cnr Princes Walk & Russell St Ext
Melbourne Vic 3000 Australia





国際ロータリー第2510地区 新入会員セミナーのご案内

来たる4月22日から1泊2日で、地区主催の新入会員セミナーを開催します、2019年7月1日以降にロータリーに初めて加入された会員が対象者です。

セミナーの次第は以下の通りです。（変更の可能性もあります。）

4月22日(土) 場所 由仁町文化交流館（由仁町東栄87-1）

- 13:00 開講 座学でロータリーの概要を聞く
- 15:00 ロータリアンとしての経験談を聞く
- 16:20 ロータリーの活動について聞く
- 17:30 座学終了 ユニの湯に移動
- 18:30 ユニの湯にて 夕食会
夕食後 グループ活動

4月23日(日) 場所 ユニの湯（由仁町伏見122）

- 7:30 朝食 朝食後グループ活動
- 10:00 グループ活動の報告
- 11:00 クラブにおける社会奉仕活動の紹介
- 12:00 修了証授与後 閉講 解散

参加費用はお一人15,000円です。

申し込みは次項の申込書に記入の上、クラブ毎にまとめてクラブの幹事さんより実行委員会のメール（rid2510.ishimaru@gmail.com）に添付して送信して下さい。

施設の都合上40名を定員としており、申し込み先着順とさせていただきます。

国際ロータリー第2510地区
2022-2023年度
新入会員セミナー実行委員会
ガバナー 石丸 修太郎
実行委員長 河口 義憲

国際ロータリー第 2510 地区

2022-2023 年度

新入会員セミナー申込書

申込期限：2023 年 3 月 17 日

申込年月日 2023 年 月 日

| | | | |
|----------------|-----|-----------------|--------------|
| クラブ名 | | 会長名 | |
| 担当者名 (役職) | () | 担当者 携帯番号 | - - |
| 担当者メール アドレス | | | |
| フリガナ | | 入会年月日 | 20 年 月 日 才 |
| 参加者名 (職業分類) | () | メールアドレス 携帯番号 | _____ - - |
| フリガナ | | 入会年月日 | 20 年 月 日 才 |
| 参加者名 (職業分類) | () | メールアドレス 携帯番号 | _____ - - |
| フリガナ | | 入会年月日 | 20 年 月 日 才 |
| 参加者名 (職業分類) | () | メールアドレス 携帯番号 | _____ - - |
| フリガナ | | 入会年月日 | 20 年 月 日 才 |
| 参加者名 (職業分類) | () | メールアドレス 携帯番号 | _____ - - |

注) 年齢は 2023 年 4 月 1 日現在でお願いします。

申込完了後、参加費用の請求をクラブ担当者に送らせて頂きます。

RYLAセミナーのご案内

国際ロータリー 第2510地区

2022-23年度

第20回

RYLAセミナー

定員
40名
対象20~30歳

申込〆切 4/22(土)

国際ロータリー第2510地区によって実施される、
若者のためのリーダーシッププログラムです。

セミナー実施日

2023.5.12(金) ▶ 5.14(日)

主なセミナー内容

講話、グループディスカッション、野外レクリエーションなどを通して、
青少年のリーダーシップを養成。

スケジュール

1日目

13:00 開校式
14:00 オリエンテーション
15:00 講義
17:00 夕食
18:00 入浴休憩
19:00 講義
20:00 パスセッション・アイスブレイク



2日目

7:00 ラジオ体操
8:00 朝食
9:00 講義
11:00 昼食
13:00 思索の時間
14:00 レクリエーション
17:00 夕食・フォーラムテーマ発表
18:00 入浴休憩
19:00 カウンシルファイア
20:00 フォーラム発表準備

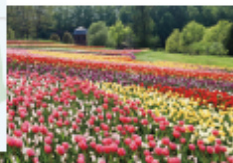
3日目

7:00 ラジオ体操
8:00 フォーラム準備
9:00 フォーラムテーマ発表・講評
11:00 講義
12:00 閉会式・写真撮影



場所

札幌市南区滝野247
札幌市青少年山の家
(滝野すずらん丘陵公園内)



Rotary
Rotary International
District 2510

【主催】国際ロータリー第2510地区RYLA委員会
【協力】札幌市青少年山の家
【お問い合わせ】第2510地区ガバナー事務所
〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階
TEL:011-207-2510 FAX:011-207-2512



国際ロータリー第2510地区 2022-23年度
第20回青少年指導者養成プログラム(RYLA)
RYLA参加申込書 [登録料:5,000円/人]

| | | | | | |
|--------------------------------|--|----|------------|--------------|----------|
| フリガナ | | | | (西暦) 年 月 日生: | 歳 |
| 氏名 | | | 男・女 | 問合せ先 | ロータリークラブ |
| 住所 | 〒 (書類送付先に○: 自宅・勤務先・その他) (郵便物が到着する住所を記入) | | | | |
| 緊急連絡先TEL | | 続柄 | | 携帯電話 | |
| メールアドレス① ②Zoom対応アドレス | | | | | |
| 勤務先 or 学校名 | | | | | |
| RYLA参加経験 | あり(第 回、年)・なし | | | | |
| 所属団体 | 一般団体名 | | | | |
| | ローターアクト | | ローターアクトクラブ | 年加入 | |
| | インターアクト経験 | | インターアクトクラブ | 年加入 | |
| ※食物アレルギーのある方は、詳細にご記入ください。 | | | | | |
| ※選考の際の参考といたしますので、応募動機をご記入願います。 | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

※ご記入いただいた情報はRYLA関連の連絡等のみに使用し、その他の目的に使用されることはありません。

※推薦ロータリークラブは、会長の承認署名後、第2510地区ガバナー事務所へFAXにて、お申込み下さい。

FAX送信先 011-207-2512 [申込メ切:4月22日]

※後日、参加受付書・参加ご案内書類等を参加者ご本人に郵送いたします。

上記の者を、国際ロータリー第2510地区第20回RYLA受講生に推薦いたします。

年 月 日

クラブ名

ロータリークラブ

会長名(署名)

携帯電話番号

RYLA委員会記入欄

RC記入

受付 年 月 日

受付番号

受講料

ガバナー四方山話

第9回 クラシックとチーズの国

スペイン語にも慣れて、のんびりとスペインで生活を楽しんで3年目になった時に突然、天から降りかかったように、勤めていたPMM会計事務所が世界中での合併話となりました。現在の4大会計事務所への道を最初に歩んだのは良いのですが、自分が所属していたスペインの事務所は、吸収する側で自分としては、特に直接的な被害は無かったのですが、他の欧州の大陸にある国では、自分の同僚が吸収される側になり、拠点事務所に居た日本人の数人が事務所を去ってしまいました。

それまでに築いてきた欧州における日系企業へのサービスネットワークがもろくも崩れ去り、関与先である日系企業に対するサービス体制の再構築が必要になり、日本の事務所に欧州を取り仕切ることの出来る者の派遣を要請したのですが、誰も出せないとの返事で、何と自分にその役をするようにとの事となり、仕方なくKPMG欧州本部が置かれたオランダのアムステルダムに移ることになりました。

太陽がいっぱいのスペインを去るのは大変辛い思いでしたが、これも何かの宿命とあきらめ、アムステルダムに居を移したのが1988年の10月、33歳の時でした。

折角のアムステルダムの生活なので、街の中の伝統的なオランダ家屋に住家を定めてみると近所に有名なコンサートヘボウという欧州の三大オーケストラの一つがあり、クラシック音楽に気楽に接することが出来たのは、大変幸運でした。

その当時のリカルド・シャイーというイタリア人指揮者が率いるオーケストラは素晴らしい音色でベートーベンやブラームス、マーラーからストラビンスキーなど沢山聞くことが出来、またここには日本からは沢山の官費留学の音楽家の皆さんが来ていて、コンサートの後に近所の自分の自宅に彼らが来て、ワインを飲みながらホームコンサートのようになったのもしばしばありました。

オランダはフランスやイタリアと並ぶチーズの産地で、ゴーダチーズやエダムチーズはとても美味しくすっかり好物になりました。スモークチーズも美味しく、日本へのお土産によく空港で購入していました。また、オランダには海の物も沢山あって、5月にはニシン祭りがあり、女王様が生ニシンを頂くとニシンのシーズンの始まりでした。大西洋のニシンは、日本のニシンより脂が乗っていて、お刺身醤油につけると油が浮くほどでした。牡蠣やムール貝も実に美味しいものがたくさんありました。

オランダ人は海鮮物の燻製が大好きで種類も沢山あって、ニシンやサバの他ウナギも燻製で売っていました。このウナギをフライパンで温めて頂くと御飯に最高でした。街中の青空市場に行くと生のタコやウナギも売っていて調理の材料には事欠かない街でした。生のサバを手に入れて、しめ鯖を作ったのですが、酢に一晚漬けてもなかなか締まらず、大西洋のお魚は脂が強烈に強いことを知りました。

オランダには乳製品は多くありますが、牛肉はあまり食べないようで、年老いた乳牛の肉の多くはミンチにされコロツケの具になりますが、これが実に美味しいのです。ビターボーレンという丸い小さめのコロツケはビールの最高の友でオランダ人の心の故郷です。

ガバナー補佐自分を語る

「気が付けば」

国際ロータリー第2510地区
第11グループガバナー補佐

柏木 秀之 (函館五稜郭RC)



まずは、自己紹介を致します。私は、北海道岩見沢市出身です。縁ありまして25歳で現在の職業であります不動産仲介業を起業し、その後、43年をここ函館で過ごしております。

趣味は多彩で、富士山登山・水上スキーなど、海に山に若いころは体力の限界に挑戦しておりました。最近では、体力を使わない旅行やDIYにはまっております。

旅行は、船旅が大好きでして、一番感動してもう一度行きたいと思っておりますのが、世界遺産のベトナム・ハノイの海から入るハロン湾の景色です。3000もある奇岩のそばを、ゆっくりと航海しながら港に向かう景色は、心に残る忘れられない絶景でした。

DIYは物を作るのが好きでして、自分でも思っていた以上に、手先が器用みたいで、体調が良く、気持ちが入ると、つい、時間を忘れて夜まで没頭してしまいます。

ロータリーは、知人のロータリアンに誘われまして、42歳の時に入会致しました。「楽しそうだなあ-」そんな軽い感じで入会しました。

初めての奉仕活動で様々な体験をしつつ、仲間に恵まれ今まで過ごして参りました。

楽しい活動の後には、この度のようにまさかの、ガバナー補佐という重いポジションでの活動も経験させて頂く事と相成りました。

ガバナー補佐に就任して、初めての新しい活動を経験して行くなかで本当にロータリアンとして、敬意を表したい方々に出会えた事は、私にとりましては、人生の宝になると感じております。気が付けば26年という年月が過ぎておりました。

この度改めてロータリーとは?と考えて少し調べてみましたら1905年シカゴで創設されてから、今まで色々な職業を持つ人や市民のリーダーが「世界を変える行動人となる」という一文がありました。

スキルを持つロータリアンが、多様性を重んじ、様々な問題の解決策を見出せば、貢献する事に意味がある。なるほどです! 目的はロータリアンの皆さん一つだと思います。問題解決の為、それぞれの立場で考え行動し、目的に近づく。それで良いのだと思います。

私も、体調の許す限り皆様と楽しく、ロータリアンとして奉仕活動に参加して参りたいと思います。今後とも、宜しくお願い致します。

新会員のご紹介

敬称略



千歳RC
竹村 玲児
令和5年1月12日
不動産売買



千歳RC
簀 美也子
令和5年1月12日
ピアニスト



千歳RC
和田 莊平
令和5年1月12日
ホテル



千歳RC
黒坂 篤
令和5年1月12日
総合建設工事



千歳RC
松坂 友美
令和5年1月12日
飲食業



札幌はまなすRC
衣澤 征美
令和5年1月17日
土地家屋調査士



札幌はまなすRC
森 成世
令和5年1月17日
全国人材支援事業協同組合



新札幌RC
芝 雄亮
令和5年1月25日
弁護士



新札幌RC
渡辺 麻里衣
令和5年2月1日
弁護士

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに心からご冥福をお祈り致します



室蘭東 R C
奈良 泰哉 会員
2023年1月5日逝去（享年61歳）

【ロータリー歴】

2004年4月7日 入会
2006－2007年度 社会奉仕委員長
2011－2012年度 職業奉仕委員長
2012－2013年度 奉仕プロジェクト委員長
2015－2016年度 国際奉仕（財団・米山含）
2017－2018年度 クラブ管理運営（ロータリー情報）
2018－2019年度 会長
2020－2021年度 青少年（インターアクト含）委員長
2021－2022年度 プログラム委員長
理事 8回

【表彰関係】

ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

月信委員会からのお知らせ

従来ガバナー月信に掲載されておりました以下の記事は、今年度は地区ホームページに掲載をしております。地区ホームページ（<http://rid2510.org>）をご参照ください。

【ホームページ掲載記事】

- ・ガバナー補佐名簿
- ・ガバナー公式訪問日程
- ・地区カレンダー
- ・ガバナー事務所スタッフ・担当
- ・地区予算
- ・地区クラブ会長・幹事名簿
- ・地区組織図
- ・ハイライトよねやま
- ・コーディネーターNEWS
- ・ロータリー定期報告関係 等



RI 2510地区ホームページ
QRコード

表紙の解説（第3グループ）

北海道の老舗酒蔵【小林酒造株式会社】

壮大な開拓魂が宿る明治の蔵

小林酒造株式会社は、創業明治11年。初代小林米三郎は新潟県出雲崎より渡道し、父「伝四郎」の手によって札幌市にて酒造業を開業しました。明治33（1900）年に現在の夕張郡栗山町に本拠地を移しています。

小林酒造の酒蔵群の特徴は、造り酒屋としては極めて珍しい西洋建築を取り入れたレンガ蔵・札幌軟石を使用した石蔵の美観にございます。一万坪の敷地内に17棟もの蔵が点在し、築100年蔵としては全国でも有数の規模を誇っています。空知地方のレンガ建造物としては最大規模のものであり、一級の歴史的建造物として認定されています。

蔵元「北の錦記念館」は昭和19年に小樽の銀行をモチーフに建築された、小林酒造の旧本社事務所であり、平成8年には、約5000点の酒器・蔵人の生活道具等を中心に構成した展示施設と蔵元限定のお酒を購入できる直売所として生まれ変わりました。

平成26年7月に蔵元の生家 小林家もオープン。

小林家は1897年（明治30年）に建築された小林酒造の歴代社長宅です。2013年（平成25年）までこの家での暮らしがありました。

小林酒造創業からこれまでの間には、華やかな時も苦境に立たされた時もありました。しかし、小林家の女性たちはどんな時も「もったいない」を貫き、質素で忍耐強い生活で家を守り続けてきました。小林家のご案内は、そんな女性たちにスポットをあてながら物語ります。

築120年を超える古民家で甘酒などの喫茶を楽しめ、有料で小林邸の内部を説明付きでご案内しています。（家屋見学は1日4回（11月～3月は3回）、小林家の「守りびと」がご案内いたします。）

さらに敷地内には、昭和元年建設の古民家で手打ちそばが楽しめる『錦水庵』があり、せいろや田舎蕎麦、そばがき等のお料理、小林酒造の日本酒を楽しめます。



表紙の解説（第3グループ）

北海道の老舗酒蔵【小林酒造株式会社】



①中庭

夕張炭鉱に向けて出荷していた時代を彷彿させる、石炭燃料の多管式蒸気機関が残る中庭。

創業当時の北海道は極寒の地で、発酵が止まるほど。

保温効果の高いとされた瓦技術を使い、レンガで蔵を立てた。



②仕込風景

酒造りではものすごい量の米を使う。蒸された米の粗熱を取りながらかたまりをほぐし、各工程に振り分けられていく。

小林酒造では道産の原料にこだわり、全量を道産米で醸す。



③小林家

創業者である初代小林米三郎が建てた家屋。築120年を超える建物は、明治の面影を残す。

現在は、「小林家」として一般開放しており、「守りびと」たちの案内や酒屋の甘酒が楽しめる。



④記念館

旧事務所として使われていた建物は、銀行の設計図を使って建てられた。この建物をふくむ、全13棟が国の登録有形文化財に指定されている。建物の中は、資料館・直売所として使用されており、様々な観光客を受け入れている。

Rotary  **District2510**